

本時の視点 | パフォーマンス評価を活かしたコミュニケーション活動の工夫

1 単元 Stage Activity2 Discover Japan (NEW HORIZON English Course 3)

2 目標

日本文化の魅力を外国の人へ伝えるために、日本の伝統行事や文化などについて自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて話すことができる。

3 関連する学習指導要領における領域別目標

話すこと[発表]	イ 日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を話すことができるようにする。
----------	---

4 単元の評価規準

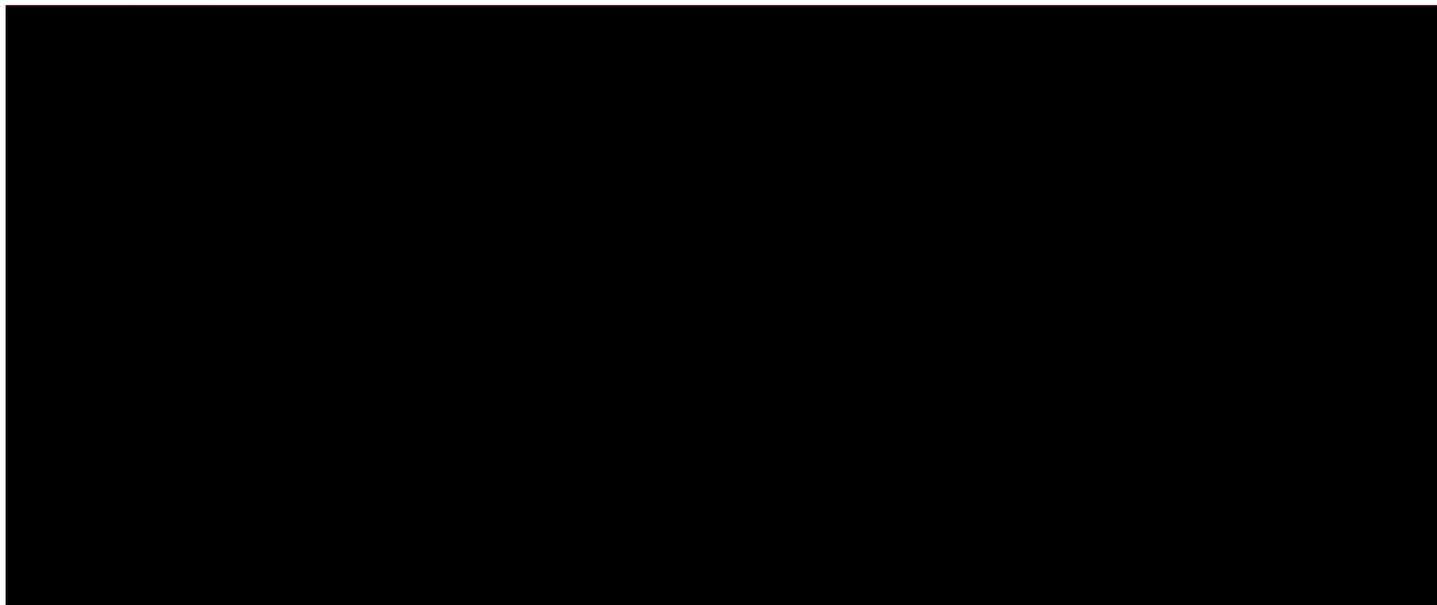
	知識・技能		思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	<知識>	<技能>		
話すこと[発表]	受け身の表現“～ is used by…”や接続詞を用いた文“I use～ when…”など、既習の言語材料の形・意味を理解している。	日本の伝統行事や文化などについて自分の考え、気持ちなどを整理し、受け身の表現“～ is used by…”や接続詞を用いた文“I use～ when…”などの簡単な語句や文を用いて、話す技能を身に付けている。	アメリカに住んでいるAETの友人に、日本文化の魅力を知ってもらえるように、おすすめの物について事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて話している。	アメリカに住んでいるAETの友人に、日本文化の魅力を知ってもらえるように、おすすめの物について事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて話そうとしている。

5 単元について

(1) 教材観

本単元は、日本文化を代表する風物や伝統行事等を扱っている。単元の最後には、外国人観光客に向けたパンフレットを作成する活動が設定されているが、本校では独自の活動として、アメリカに住む AET の友人に向けて日本文化の魅力を伝えるための動画「私のおすすめ Japanese things」を作成する活動を設定した。何を、どのように説明するかを考え、外国の人に日本の魅力が伝わるように、説得力のある文章を作り、分かりやすく発表する必要がある。

(2) 生徒の実態 (在籍 30名)



(3) 指導観（本分科会テーマについて）

本分科会では、パフォーマンス評価を活かしたコミュニケーション活動の工夫について研究を進めてきた。本校では、これまで定期的にパフォーマンステストを実施してきており、特に話す活動では、毎学期末にプレゼンテーションの発表を行った。その際、ルーブリックを活用しながらプレゼンテーションの内容や方法を改善する機会をもてるよう留意した。前回のプレゼンテーションを見直したり、活動途中で中間発表会を行って相互評価をしたりすることを通して、生徒たちは着実に技能や表現力を高めることができた。本単元においても教師と生徒がルーブリックを共有することで、教師が指導するポイントと、生徒が目指すべき姿を焦点化できるようにし、パフォーマンス評価を効果的に活用しながら、より主体的なコミュニケーションの場が創出できるようにしていきたい。

「英語に関する実態調査」の結果から、本校の生徒は自分の意見を伝える力に課題が見られた。そこで、本単元では show and tell 形式でおすすめを紹介する場面を設定し、相手に合わせて紹介する物を選んだり、選んだ理由を伝えたりする活動に取り組みさせることで、自分の考えや気持ちなどを整理して話す力を伸ばしたいと考えている。発表内容を構想する場面で、前時の相互評価におけるルーブリックを活用しながら自分の達成状況を確認したり、友人とアイデアや疑問点等についてやり取りをしたりする場面を設けることで、表現内容や方法を改善することができるようにしていきたい。

6 指導と評価の計画

次	時	ねらい（■）主な言語活動（○）	知	思	態	評価の観点【評価方法】
1	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>■単元の目標を理解する。</li> <li>○自己目標を設定する。</li> <li>■日本の行事や風物について、ペアで伝え合うことができる。</li> <li>○日本文化を紹介するモデル文を読み、日本の行事や風物を英語でどのように説明するか理解する。</li> <li>○ペアになり、モニターに映し出される日本文化について即興で伝え合う。</li> </ul>				本時では、学習状況を把握するが、記録に残す評価は行わない。
	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>■日本文化の紹介の仕方に慣れるとともに、自分が選んだ日本文化について紹介文を書くことができる。</li> <li>○教科書を参考にし、選んだ日本文化についてマッピングをして、紹介文を書く。</li> <li>○紹介文を全体で共有し、お互いが何について書いたのかを当てる。</li> </ul>				本時では、学習状況を把握するが、記録に残す評価は行わない。
	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>■アメリカに住んでいる AET の友人に、日本文化の魅力を知ってもらえるように、おすすめのものについて話すことができる。</li> <li>○「アメリカにいる友達が土産物を選べるように、日本の物を紹介してもらいたい。」という AET の要望を聞く。</li> <li>○相手に合わせた提案ができるよう、事実や意見を整理して文章にまとめ、show and tell 形式での発表動画を撮影する。（1回目）</li> <li>○ルーブリックを使って評価する。（1回目）</li> </ul>				本時では、学習状況を把握するが、記録に残す評価は行わない。
	4 (本時)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■アメリカに住んでいる AET の友人に、日本文化の魅力を知ってもらえるように、おすすめのものについて事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて話すことができる。</li> <li>○前時の動画やルーブリック、教師からのフィードバックを確認する。</li> <li>○ペアで発表し合い、アイデアを得るために質問やアドバイスを伝え合う。</li> <li>○内容や表現について再考し、発表動画を撮影する。（2回目）</li> <li>○ルーブリックを使って評価する。（2回目）</li> </ul>	○	○	○	『話すこと [発表]』の記録に残す評価 (知識・技能)【動画】 (思考・判断・表現)【動画】 (主体的に学習に取り組む態度)【動画】

5	<p>■クラスメイトが撮影した日本文化についての紹介動画を見たり、AETの友人からの感想を聞いたりし、その概要や要点を捉えることができる。</p> <p>○発表動画を共有し、ループリックを見ながら鑑賞する。</p> <p>○AETの友人から送られてきた感想を聞く。</p>	<p>本時では、学習状況を把握するが、記録に残す評価は行わない。</p>
---	--	--------------------------------------

※記録に残す評価を行わない場合においても、ねらいに即して生徒の活動の状況を確認に見届けて指導に生かすことは毎時間必ず行う。活動させているだけにならないよう十分留意する。

※Unit4～Stage Activity2を通して育てたい「話すこと [発表]」の能力

有名人の説明、あこがれの人物紹介、私のおすすめ Japanese things などについて、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を伝えることができる。

## 7 本時の指導

### (1) 目標

アメリカに住んでいる AET の友人に、日本文化の魅力を知ってもらえるように、おすすめの物について事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて話すことができる。

### (2) 準備

教科書、ワークシート、教師用 PC、生徒用 PC、モニター、タイマー

### (3) 展開

学習内容・活動	指導上の留意点・評価 (◎本時の視点に迫るための手立て)	
	JTE	AET
<p>1 あいさつをする。</p> <p>2 Small Talk をする。 Topic: If you stay with a family in America, what Japanese souvenirs do you want to give them?</p> <p>A: I want to give <i>sembei</i>. It's salty. I think American people will like it.</p> <p>B: I think so, too. I want to give a <i>kendama</i> and I want to play it with them.</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>やり取りを交えながらあいさつをし、英語を学習する雰囲気をつくる。</li> <li>活動意欲を喚起するため、3人組になり、1人はセンテンスカウントを行うように指示する。3セット行う。</li> <li>最初に教師と教師、教師と生徒のやり取りを行い、グッドモデルを示すことで、使うべき表現に気付かせる。</li> <li>活動がスムーズに進まない場合にはグループに加わり、パラフレーズやリキャスト等でヒントを与えながら支援する。</li> <li>中間指導を通して、英語で言えなかったことや、上手に表現できていたことを共有し、対話を展開させたり、既習表現を想起させたりできるようにする。</li> </ul>	
<p>3 本時の学習課題を確認する。 (1) 学習課題を確認する。 アレックスさんに日本文化の魅力が伝わるようにプレゼンテーションをすることができる。 「私のおすすめ Japanese things」</p> <p>(2) 前時の動画を振り返る。 ループリックと、教師からのフィードバックを確認する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>本時の課題と授業の流れを説明することで、生徒が見通しをもって活動できるようにする。</li> <li>◎前時を振り返る際に、ループリックを確認させることで、課題を明確にししながら、一人一人がゴールに向かって活動できるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒とやり取りしながら、「アメリカにいる友達が土産物を選べるように、日本の物を紹介してもらいたい。」という要望について改めて話し、学習課題を明確にする。</li> <li>机間指導を行い、良い点を称賛したり、改善点を指摘したりする。</li> </ul>
<p>4 本時の活動を行う。 (1) ペアになり、発表の練習をする。聞き手は質問をしたり、アドバイスをしたりする。</p> <p>生徒Aは発表後に、生徒Bとやり取りをする。 A: I think a Japanese fan,</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>デモンストレーションでは、生徒とのやり取りを交え、どんな質問やアドバイスをしたらよいか考えさせたり、質問や意見の例を与えたりし、生徒が活動しやすいようにする。</li> <li>活動がスムーズに進むよう、友人の情報（好きなものや趣味など）についてまとめておき、提示する。</li> <li>新しい情報や自分の考えをまとめられるように、時間を取りながら進行する。</li> </ul>	

<p><i>uchiwa</i>, is good. It is made of wood and paper.  B: Why did you choose <i>uchiwa</i>?  A: <u>Because Alex likes summer.</u></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・原稿を書き直す必要はなく、メモを取る程度で構わないことを伝え、話す活動に集中できるようにする。</li> <li>・様々な質問や意見が出るように、ペアを変えて2回目を行う。</li> <li>・活動が進まずに戸惑っているペアには、簡単な表現方法を伝えたり、新しいアイデアのヒントを与えたりし、個別に支援する。</li> </ul> <p>◎中間指導では、やり取りを交え、生徒が使いたい表現や、生徒に使わせたい表現などを共有する。</p> <p>◎ループリックを使用して再度自己評価をすることで、前時からの変化に気づき、自信をもてるようにする。</p>	
<p>↓</p>		
<p>やり取りをもとに、生徒Aは内容を改善する。  A: I think a Japanese fan, <i>uchiwa</i>, is good. It is made of wood and paper. <u>I chose it because Alex likes summer. In Japan, people use it when it's hot.</u></p>	<p>評 受け身の表現 “～is used by…” や接続詞を用いた文 “I use～when…” など、既習の言語材料の形・意味を理解している。  (知識・技能) 【動画】</p> <p>評 日本の伝統文化や文化などについて自分の考え、気持ちなどを整理し、受け身の表現 “～is used by…” や接続詞を用いた文 “I use～when…” などの簡単な語句や文を用いて、話す技能を身に付けている。  (知識・技能) 【動画】</p> <p>評 アメリカに住んでいる AET の友人に、日本文化の魅力を知ってもらえるように、おすすめの物について事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて話している。  (思考力・判断力・表現力) 【動画】</p> <p>評 アメリカに住んでいる AET の友人に、日本文化の魅力を知ってもらえるように、おすすめの物について事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて話そうとしている。  (主体的に学習に取り組む態度) 【動画】</p>	
<p>(2) 発表を撮影する。  (3) ループリックを使い、発表動画の自己評価をする。</p>		
<p>5 本時の振り返りをする。</p>	<p>・次時の予定を伝え、学習の見通しがもてるようにする。</p>	<p>・良かった点を生徒に伝え、次時への意欲につなげる。</p>

(4) ルーブリック

教師用			
条件1：日本文化の魅力が伝わるような土産物を選んでいる。 条件2：選んだ物の詳細を相手に伝えるため、特徴（使用場面や歴史的背景など）について説明している。			
	発表の正確さについて (知識・技能)	発表内容の適切さについて (思考・判断・表現)	発表への取り組み方について (主体的に学習に取り組む態度)
A	誤りのない正しい英文で説明することができる。	土産物を選んだ理由を述べながら、2つの条件を満たして話している。	土産物を選んだ理由を述べながら、2つの条件を満たして話そうとしている。
B	誤りが一部あるが、内容を概ね伝えられる程度の英文を用いて説明することができる。	2つの条件を満たして話している。	2つの条件を満たして話そうとしている。
C	「B」を満たしていない。	「B」を満たしていない。	「B」を満たしていない。
※以下、想定される生徒の発話例			
(B評価の例) Hello. I think a Japanese fan, <i>uchiwa</i> , is good. It is made of wood and paper. It is used in summer. You should get one! Thank you for listening.			
(A評価の例) Hello. I think a Japanese fan, <i>uchiwa</i> , is good. It is made of wood and paper. I chose it because you like summer. In Japan, people use it when it's hot. Also, if you are interested in music, you can take <i>uchiwa</i> to festivals or concerts. This Japanese traditional fan is very useful. You should get one! Thank you for listening.			

生徒用（1回目は○，2回目は◎でチェックをする。）			
条件1：日本らしいおみやげを選んでいる。 条件2：アレックスさんが理解できるように、おみやげの特徴（どんな時に使われるか、どんな歴史があるかなど）について説明している。			
	発表の正確さについて (知識・技能)	発表内容の適切さについて (思考・判断・表現)	発表への取り組み方について (主体的に学習に取り組む態度)
A	まちがいのない文で、正しく伝えることができる。	おみやげを選んだ理由を説明しながら、2つの条件を満たして話している。	おみやげを選んだ理由を説明しながら、2つの条件を満たして話そうとしている。
B	少しまちがいはあるが、だいたいの内容を伝えることができる。	2つの条件を満たして話している。	2つの条件を満たして話そうとしている。
C	上記以外	上記以外	上記以外